

重要

令和2年9月1日

鎌倉市医師会会員の皆様へ

鎌倉市医師会長 山口 泰

鎌倉市医師会立産科診療所 ティアラかまくら閉院に向けてのお知らせ

日頃より会務にご協力有り難うございます。

鎌倉市医師会立産科診療所ティアラかまくらは、市内の産科病床不足解消のため、鎌倉市から請われ、その協力を得て平成21年（2009年）2月に開設されました。

以来現在までおよそ、2,500分娩を取り扱い、市民の皆様に親しまれ、支持されてまいりました。

開院当初の予想分娩数、年間360分娩は達成できませんでしたが、2012年度は322分娩をこなし、市内の不足する産科医療に貢献を果たしながら、運営を行ってまいりました。

その後、市内や周辺各市の産科施設の新設・増床に伴い、近年は分娩数がつるべ落としに低下し、昨年度は年間126分娩と低迷しております。

鎌倉市から、平成29年（2017年）春に、ティアラかまくらは既に十分な役割を果たし終え、年間1億円を大きく上回る赤字が出ている現状で、これ以上の継続は見直すべきではないかとの提案を受けました。

この提案に対し、理事会で検討を行い、様々な改善策を盛り込んだ経営計画を市に提示しました。

市との協議を行い、当面改善計画に沿って、運営していくことに決まり、経費削減策を実行した結果、年間約2,000万円程度の経費圧縮が実現できました。

しかし、2017年度の分娩が158分娩、2018年度は145分娩、昨年度は126分娩と、分娩数の減少に歯止めがかからず、経営改善策も焼け石に水となりました。

このような状況の中、本年初めに鎌倉市より、ティアラかまくらの閉鎖に向けての協議を行いたいと、再度要請がありました。

理事会でこれを協議し、1分娩に100万円を超える補助金をいただきながら経営する現状と、今後も市内の全出産数が長期に渡って低下していくことを踏まえ、まことに不本意ではありますが、市の要請を受けて閉鎖（閉院）に向けて協議を始めることとなりました。

コロナ禍のもと、非常事態宣言の期間は協議を行うことができませんでしたが、宣言が解除され、このたび市との再協議の結果、令和3年3月31日予定日の分娩とその1ヶ月健診まで責任を持って行い、同年5月31日をもって閉院することに決しました。

今後は、①妊婦さんや患者さんを第一とし、最期まで責任を果たしていくこと、②職員の今後を全力でサポートしていくこと、③賃借している建物や備品について責任を持って対処していくことの3点を、きちんとやり終えることが、開設者としての医師会の責務と考え、鎌倉市の協力を得ながら、全うしていくつもりです。

会員の皆様には、このことをご承知おきいただき、妊婦さんや患者さんの受け入れ、職員の就業サポートなどについて、ご理解とご協力を賜りたく、よろしく願い申し上げます。